



館長だより

山形県産業科学館

令和 6 年 1 月 1 日 (金)

発行 館長 加藤 智 一

戌の日と犬の日

戌の日とは、1日1日に割り振られている十二支の戌に当たる日で、12日に1度やってきます。ですから、単純に考えても月に2~3回巡ってくる計算になります。ちなみに11月は1日、13日、25日の三回あります。そして、大事な戌の日の行事と言え、**「安産祈願」**でしょう。**「安産祈願」**は、妊娠5ヵ月目の最初の戌の日に腹帯を巻き、安産を祈願する風習です。思い起こせば数十年前、私の義父（妻の父親）が亡くなった日、まさに家内のお腹の中には長男がいたわけで、「戌の日」でありました。一人娘でありましたので、さぞかし心残りであったと思いますが、「戌の日」に安産を願って行う**「帯祝い」**の御利益か、無事安産にて、長男はこの世に生を受けました。

ところで、なぜ「戌の日」なのか？という、戌（犬）は多産でありながらお産が軽いことから**「安産の守り神」**として親しまれてきたからだそうです。**「帯祝い」**の儀式では、神社やお寺へ行って、祈禱を受け祝詞をあげていただきますが、「帯祝い」を行うための腹帯を「岩田帯（いわたおび）」と言い、参拝の際に祈禱していただきます。腹帯は、妊婦の実家から贈るのが一般的と思っていたら、今は、特に決まりごとはなく、自分で購入する場合や、神社・お寺で用意される場合もあるそうですので、事前に確認をしておく要らぬ出費は避けられそうです。世の中何でもそうですが、少子高齢化が進み、核家族化にも一層拍車がかかり、おまけにコロナ禍で、生活様式が随分と簡素化されてきました。常識と思っていたことが、「世の中がそうだから」というなんとなく分かったような理由を付けて、何でもかんでも省略する昨今の風潮は、いかななものかと、考えてしまうこともしばしば。

さて、「戌の日」とは全く別物。「犬の日」というのも本当にあるのです。「犬の日」とは、1987年に一般社団法人ペットフード協会（当時のペットフード工業会）が制定した記念日です。「ワン・ワン・ワン」のわんちゃんの鳴き声にちなんで、11月1日に決められました。

「犬の日」は、「犬についての知識を身につけ、犬をかわいがる日」とされています。日本各地には、犬と人との関係を示すエピソードが多く存在します。例えば、山形県高島町には「犬の宮」という社があります。和銅年間（708~711）のころ、都の役人になりすまして村人から年貢を取り立てていた古狸が、二匹の犬によって倒さ

れましたが、犬も死んでしまいます。「村の大難を救ったこの犬を村の鎮守とせよ」という座頭のお告げにより、崇め祀ったのが由来とされています。そして、皆さんご存じ、ハリウッド映画の題材にもなった**「忠犬ハチ公」**。また、茨城県石岡市には、「忠犬ハチ公」ならぬ**「忠犬タロー」**もおります。昭和39年、石岡駅で飼い主とはぐれてしまった迷い犬が、小学校で飼われることになりました。名前は「タロー」。子ども達に可愛がられましたが、朝と夕、必ず小学校から駅までのおおよそ2kmを歩き、駅の待合室に着くと、じっと改札口を眺め、誰かを待ち、待ちくたびれるとまた小学校に帰っていくという生活を亡くなるまでの十数年間続けたそうです。今でも、駅前には「タロー」の銅像が立っているそうです。

他にも、世界中に犬にまつわる記念日は存在しており、アメリカにおける犬の日 National Dog Day 8月26日は、全米各地で保護犬の譲渡会やチャリティイベントなどが開催されています。また、3月23日は、National Puppy Day（子犬の日）。無償の愛情をくれる子犬に感謝する日です。劣悪な環境に閉じ込められて強制的に交配させられる「パピーミル」の撲滅も目的のひとつになっています。さらに、7月31日と12月2日は、National Mutt Day（ミックス犬の日）でして、ミックス犬への認識を新たにすることを目的として制定されました。National Mutt Dayにはシェルターで待つ多くのミックス犬に新しい家族との縁をつくるために、ミックス犬限定の譲渡会が開催されているそうです。他にも国際盲導犬学校連盟が制定した、4月の最終水曜日の国際盲導犬の日というのもあります。

私は犬を飼ってはいませんが、隣の家のコリー犬「ココ」とは、仲良しです。いつまでも元気でいてもらいたいと思います。たまに無視されるのも可愛い。

